

## 有床診療所移行について

金病院は市内唯一の一般病床を稼働する医療施設として、血液透析や下部消化管内視鏡手術等の入院設備を要する医療の提供や入院治療を行っている。しかしながら、当院では全麻手術及び腰麻手術を行わなくなってから入院適応が大きく変化し、さらに市の人口の激減から、病床稼働率が大きく減じ続けている。また、病院は建設後45年を経過し、設備の老朽化から良好な入院環境の提供が課題となり、来院者のための駐車スペースが手狭となって不便をかけている。改善を要する現状である。

現在の病院が持つ機能を可能な限り維持したうえで、対象人口に見合う規模縮小を目指して有床診療所へ移行する。地域の福祉との連携を視野に、福祉施設と隣接する土地およそ 3,200 m<sup>2</sup>を賃借し、鉄骨鉄筋コンクリート二階建て、延べ床面積 1,850 m<sup>2</sup>、病床数 19 床の有床診療所を建設中である。